

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

R I 第 2820 地区

# 水海道ロータリークラブ

2009-2010年度 テーマ

増やそう 新しい仲間たち！  
開こう 未来への扉を！



2009-2010 年度 R I 会長  
ジョン・ケニー

次回例会予定 11月4日 会員卓話 北村 仁会員  
11月11日 財団月間に因んで

VOL. 47 No. 15 (通算No. 2217)

2009年10月28日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話

常総公共職業安定所

所長川又鉄也様



お座敷列車「宴」

写真提供: 古河市在住 和久知寛様

2009 - 2010年度

会長 田 上 秀 雄

幹事 武 藤 康 之

創立 1963年9月25日

例 会 場 ・ 例 会 日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30

0297-22-1251

事 務 所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

## 10月は職業奉仕月間・米山月間です

### THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.47 No.14 (No.2216) 10月21日(水)曇り (司会 齋藤広巳委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶

会員卓話 上野 博会員

**幹事報告** 武藤康之幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

**会長挨拶** 田上秀雄会長



皆さん、こんにちわ。朝晩の気温が下がり、秋も深まってまいりました。空気が乾燥してまいりますと喉を傷めやすくなりますので、気を付けてください。

本日は上野会員に後ほど卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。

さて、今回は地区方針にも取り上げられているCO2削減について少しお話ししたいと思います。私ごとですが先日、全日本トラック協会の全国大会が愛媛県で開催され私も参加いたしました。その中で、トラックの出すCO2を削減するための手段として「トラックの森づくり」という運動が全国規模で行われています。今回は、えひめ森林公園の山肌0.7ヘクタールにカラマツ・コナラ・モミジなど700本の苗木を植樹しました。

皆さんは1本の樹木がどれだけのCO2を吸収するかご存知ですか？

たとえば、杉の木(樹齢80年)1本が1年間に吸収するCO2は14kgです。自家用自動車1台から排出されるCO2は年間2300kgです。これを全て吸収するためには樹齢80年の杉の木が160本必要となります。このように自然の力を保ための作業も大切な仕事です。

その他に一般家庭・企業などでCO2削減のためにできるさまざまな取組みを行っています。ロータリークラブに於いても今後もCO2削減に向け皆様と共に努力して参りたいと思います。

**会員卓話** 上野 博会員



関東つくば銀行の上野です。今日は卓話ということで初めてなものですから大変緊張しております。宜しくお願いします。先日、齋藤委員長から卓話の依頼をされまして引き受けたのはいいのですが、何をテーマにしたら良いかと随分と悩みました。そこで、私は結城に住んでおりますので結城について何か話をしよう、そして結城といえば結城紬ですので、結城紬の歴史と紬を作る工程について話をしたいと思います。

その前に、私自身と結城紬との係わりについて少し述べたいと思います。実は、私の両親はどちらも80代後半なのですが、30年位前までは結城紬に携わっておりまして結城紬で生計を立てていました。その当時、近隣の

農家では何らかの形で結城紬に関係している人がかなりの割合であったように思います。まずは蚕を育てて繭を作る養蚕です。当時、畑のほとんどが桑畑で多くの農家が蚕を飼っていました。蚕は年に6回飼うことが出来たようです。当時は現在のように働き口があまりなかった時代ですから年に数回の現金収入は農家にとっては良い副業だったと思われます。当時を思い出しますと自宅の中は勿論ですが、場所を確保するために寝室にまで蚕を飼っていました。そして蚕のことを「お」をつけて「おかいこ」と呼んでいたもので、いかに大事に扱われていたか、ご理解いただけるかと思います。次に「糸つむぎ」ですが、これはお婆ちゃんの仕事です。そして「機織」は娘さんやお嫁さんの仕事でした。これらについては後で工程

## 10月は職業奉仕月間・米山月間です

### THE WEEKLY REPORT

の中で述べたいと思います。このように私の周りでは日常生活の中に結城紬があったというのが現状でした。

#### 本場結城紬について

##### 1.歴史

ふる里は関東平野の中央・筑波山の裾野を流れる鬼怒川沿いの台地で古くから養蚕が盛んで織物の産地でした。常陸風土記に出ている「紬」(あしぎぬ)は結城紬の元祖とされ、奈良時代に常陸国から朝廷に上納された布はいまも正倉院に保存されているそうです。

この「紬」はやがて「常陸紬」とかわり「結城紬」と呼ばれるようになったのは江戸時代に入ってからようです。初代結城朝光(鎌倉時代)以来、結城家ではこの産業を保護育成し、結城紬は諸国名産のひとつになったようです。結城家18代の秀康が備前・福井に移付されたのちも、後を任された伊奈備前守忠次(いなびぜんのかみただつぐ)は織りや染めの技術改良に努力したので結城紬の評判はますます高まったようです。

\*江戸では泰平に慣れ奢侈(しゃし)の風が一世を風靡していました。この弊を改めるため幕府は節儉例(せっけんれい)を公布しました。こうした状況の中にあつて結城紬は外見が渋く木綿に似ているところから、隠れた贅沢として大名をはじめ商人、町人の間に浸透していった。

そして、昭和31年に国の重要無形文化財に昭和52年には伝統工芸品に指定されております。

昭和49年この年は茨城国体が開催されたのですが、昭和天皇が来結され結城紬を天覧されております。また、この年は皆さんも覚えていると思いますが、NHKの朝の連続テレビ小説「鳩子の海」で結城が舞台となっており結城紬の名声がさらに高まりました。今振り返れば、このころが結城紬の全盛期ではなかったかと思ひます。

結城紬は江戸時代には既に有名だったようで江戸中期の百科事典「和漢三才図説」には次のように紹介されています。<細微ではないが、長らく破れたり、しわよったりしない。民間でせつ衣(普段着)とするのによい。(中略)常州の結城で生産されるものを上とし、信州のものはこれに次ぐ。その他にも処々(ほうぼう)にあつて枚挙できない。>と書かれており最上品の紬として紹介されています。

\*結城秀康……徳川家康の二男として生まれ、結城春朝の養子となり結城家の18代を継いだ。そして、68万石の大名として越前・福井に移る。

話がそれますが、女優の高峰秀子さんが「結城紬とわたし」という題で文章を書いていますので、ポイントだけ紹介したいと思います。<洗えば洗うほど、しなやかになり艶を増す。丈夫で長持ち、そして上等……結城はもともと普段着といわれているけれど私はそういう常識は無視して結城を付けさげに染めて訪問着代わりにしています。>つい最近でも水海道出身の女優・羽田美智子がテレビで紬を着て結城紬の紹介番組を行なっていました。

##### 2.工程 下拵え(したごしらえ)

###### (1)真綿かけ

蚕が作った繭を、重曹を加えた熱湯で煮て水の中で袋状に広げます。繭5~6個で1枚の真綿が出来るそうです。繭を袋状に広げるのは熟練が必要。1反物に必要な繭は約2000個です。

###### (2)糸つむぎ

袋真綿を「つくし」にかけて手で糸をつむぎ出す作業です。左手でつまんで唾液をつけた右手でひねりを加えながら手元へしごく作業。主にお年寄りのおばちゃんの仕事で科学的根拠はないが<おばちゃんをつばが適している>と私の周りでは言われていました。1反物の糸をつむぐのに2~3ヶ月かかるそうです。

###### (3)緋(かすり)くくり

緋模様をつくるために糸を緋の色で染めてから図案を基に墨で糸にしるしをつけ、模様の出るところを綿糸でくくり、そこだけ染料が染み込まないようにします。経糸(たていと)緯糸(よこいと)の緋によって模様



## 10月は職業奉仕月間・米山月間です

### THE WEEKLY REPORT

が出てくるわけです。均一した力加減で何万箇所もくっっていくのです。1日に200箇所がくくれる限度です。この作業は力が必要なので男の人の仕事です。

#### (4)機織り

結城紬は日本で一番古い形の織機「イザリ機(ばた)」で織られています。経糸(たていと)に緯糸(よこいと)を打ち込むという原始的なもので、織る人も織機の一部にならなければいけないようです。織りあがった反物には、その人の性格がでると言われています。一日に10cm、一反を織るのには2ヶ月～6ヶ月かかります。以前、機織りは農家のお嫁さんや娘さんが多く自宅の縁側で織っていました。近所の人がお茶のみにくると、その度に織機から降りたり乗ったりして、どうしても織りムラがでて検査に不合格がでる。という話を聞いたことがあります。

#### 3.結城紬の現状

最後に結城紬の現状ですが、現代人の着物離れや値段の高さ等、原因はいろいろありますが生産量は年々減少傾向にあります。実際に私の周りでも桑畑はまったくありませんし、機織りをしている人もほとんど見かけません。こういった現状に業者も危機感もち対策を講じ始めたようです。先日も、日経新聞に奥順さんの取り組みが紹介されていました。結城紬で作ったショールやマフラー、バックなどを販売し、新たな用途の開拓を始めているようです。また、結城紬がユネスコの「無形文化遺産」リストへの登録候補へ提案することが決定されるという、明るいニュースもあるようです。結城紬の良さが再認識され少しでも復活の兆しが見えればと願っております。

#### 出席報告 (山崎善市副委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
53名	44名	9名	0名	7名	96.23%

#### ニコニコボックス 瀬戸隆海委員長

入金計 ¥13,000 累計 ¥808,000

お天気もよくて、ゴルフ日和です。誘惑にもめげず例会に出席して下さいました皆さん、ありがとうございます。

田上会員

茨城新聞に写真が出ました。茨城アマダブルス決勝18位でした。ライオンズの山田さんとペアで参加しました。

斎藤会員

バザーのご協力ありがとうございました。引き続き来週も宜しくお願いします。 石塚(利)会員

その他 横山会員

本日早退します。米山寄付責任果しました。 熊谷会員

先週休みました。 松崎・山野井 各会員

会報委員会

染谷正美委員長

秋田政夫副委員長

上野 博委員

